

月間報告書 2022年2月分

学籍番号

留学先 文藻外語大学

氏名

留学期間 2022/01/01~2023/03/31

年次 3年次

留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	文藻華語中心	中国語会話・文法	500	授業

II. 授業内容

No. 1

最初の授業は現地にいる様々な国の留学生とオンライン上で自分について紹介をし合った。クラスの人数はオンライン上で授業を受ける学生は私を含め日本人4人と現地にいる留学生約6人ぐらいであるため、非常に少人数で発言しやすい環境である。本文で出てくる新しい単語を使って例文を作ったり、教科書の練習問題を解いたり、実際に書くというよりはたくさん発言をして単語の使い方を覚えていく授業形式である。また、常にグループトークをする為積極的に発言しないといけない環境でもある。

III. 生活編

オンライン留学が始まる一週間前から大学側からクラス分けテストや履修登録についてのメールがたくさん来た。そして授業初日に至るまでなかなか留学先大学と連絡をスムーズに取り合うことが出来なくて不安な気持ちでいっぱいだった。その後もクラスを変更したい為に、色々な手続きを行う際もなかなか連絡を取り合うことが出来ず不安で仕方がなかった。しかしオンライン授業を受け、徐々にリスニング力やスピーキング力が伸びてきているのかわからないが、困っている事を直接先生に伝えることが出来、また先生の指導も聞き取れることが出来てきて、不安要素が少なくなった。

繁体字はなかなか慣れない為、復習や予習を必ず行い、その際に簡体字ではどのように書くのかも調べておく習慣をつけている。

オンライン留学は時間の使い方が大切であるため、1日のスケジュール管理がとても大切だなと感じた。これから本格的に始まる就職活動に向けて自ら情報収集も行わないといけないため、忙しい日々を過ごしています。

月間報告書 2022年3月分

学籍番号 留学先 文藻外語大学
 氏名 留学期間 2022/01/01～2023/03/31
 年次 3年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	文藻華語中心	中国語会話・文法	2200	授業
2	美國政府與政治	アメリカ政府と政治	300	授業
3	專業英語聽力訓練	専門英語のリスニング能力の訓練	200	授業

II. 授業内容

No. 1

週に2回ほど学習した範囲のテストが実施されます。テストの形式は先生が発音した文を書き取るテストや、与えられた話題について指定された文字数で作文を書くテストです。私の感覚ではテスト内容は難しくはないが、繁体字を書くことにまだまだ慣れていないため、よく日本の漢字と簡体字が合わさった字を書いてしまうことがあり、少し大変だと感じます。

今月の授業内容はグループワークをしながら新しく習う単語を覚えたり、テスト前になるとゲーム感覚で習った範囲を復習します。そこで習った単語を別の表現で相手に説明をし、何の単語を説明しているかを当て合うというゲームがあり、徐々に自分が伝えたいことや相手が何を伝えようとしているのかを考える力が徐々についてきたと感じています。

書いて覚えるという授業ではない為、とてもスピーキング力やリスニング力が鍛えられ、また積極的に発言したり分からないことはなぜ分からないのか伝えられる力もついてきたと実感しています。

No. 2

アメリカの政治の歴史をパワーポイントを用いて時代に沿って解説している授業です。この授業は対面で行っているのではなく、受講者全員オンラインで授業を受ける形式です。基本的に担当の先生が話していることを聞きながらパワーポイントを見て、時々グループで話し合ったりする機会がある。全て英語で解説されるため、英語が苦手な私にとっては非常に厳しいですが、用意されているパワーポイントが配布されている為、授業が終わった後に見返したり、同じ授業を取っている友達に教えてもらいながら学んでいます。

No. 3

この授業は自主作業とグループで会話をする時間と分かれているため、毎週必ずオンタイムで授業があるわけではないです。毎回新しい課に進むとその課についてレポートとテスト、グループでの意見交換をする宿題があり、期限内までに仕上げなければなりません。この授業は英語のリスニング力を養う授業だが、日常会話などのリスニング力を上げるのではなく、あるトピックに関して深く掘り下げて英語で話している動画を見てリスニング力を鍛える授業形式です。

III. 生活編

3月中旬になって、始めに登録した英語の授業の詳細がなかなか来ず、自分から大学側に問い合わせたりと非常に不安な一ヶ月間でした。結局2月から始まっていることを知って、現地の大学の先生や京都外国語大学の国際部の先生方とたくさん連絡をし、ようやく3月の下旬から授業に参加することが出来たが、出席点や、これまでの授業の内容、課題など、どうすればよいかとにかく不安でいっぱいでした。オンライン留学は実際に現地に行くことができない為、少しでも不安なことがあれば、すぐに自分から先生方に連絡を何度も送らないと何も始まらないという事を学びました。

中国語の授業は徐々にリスニング力や積極的に自分の意見を伝える力が伸びてきているなど少し感じた。また、現地にいる留学生とも徐々に仲良くなります。早く現地に行きたいなと感じます。

英語の授業では、中国語の授業数が多いにも少ないという理由から履修したので、英語が苦手な私にとってとても厳しいです。オンライン留学で知り合った友達に助けて貰いながら、英語の授業は頑張っています。

徐々に一日の流れが習慣化し始め、時間があるときには就職活動を行い、早め早めに行動するようにしています。4月から本格的に就職活動が始まるため、オンライン留学をしていてどのような力をつけることが出来たのか、自分の強みになるような話題をもてるように日々自分研究もしています。

月間報告書 2022年4月分

学籍番号 留学先 文藻外語大学
 氏名 留学期間 2022/01/01~2023/03/31
 年次 3年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	文藻華語中心	中国語会話・文法	1800	授業
2	專業英語聽力訓練	専門英語のリスニング能力の訓練	300	授業
3	美國政府與政治	アメリカ政府と政治	600	授業

II. 授業内容

No. 1

中間テストは、今まで習った課の中から1つ選んでその課の内容について自分の紹介プレゼンテーションをするテストで、今までに習った単語や文法を使って、パワーポイントを作成する。

普通の小テストは多いときで週に2回行われる時もあるが、基本的に週1回で実施され、聞き取り問題や文法、作文問題を時間内に解くテストである。

授業は先月より、会話がメインになり書くという授業形態は少なくなった。またお互い「自国の文化ではこうである」という発表機会が多いため、自国の国の文化をよく知っておく。

No. 2

今月は学習した4つの課の内容の総復習する中間テストがあった。

テスト内容は、4つの課のリスニング音源を聞きながら与えられた設問に答えていく内容で、ワークシートをしっかりと復習していると割と説きやすい問題である。

中間テスト以外の授業では、各自で期限までに与えられた課題を行い提出する形式や、2課進めば全体でワークシートの答え合わせや、ミニテストの確認を行う形式である。

No. 3

今月は中間テストの代わりとして、学習した範囲の内容からレポートを提出する課題があった。

レポートの内容は、アメリカの政治は何がきっかけでどのようにして変化していったのか、また当時アメリカで信仰されていた思想についてどう感じるのかといった内容のほか、人種差別について昔と今の比較や、どのような取り組みが現在行われているのか、それに対する自分の考えを述べたりする課題である。

授業終了時に先生が作成したパワーポイントが配布される為、それを参考にしながら復習したりインターネットで調べたりしながら、アメリカの政治について学んでいく。

III. 生活編

今月から中国語の授業形態が書くというより会話がより一層メインになり、現地のフランス人留学生と会話する機会がとても増えたので、とても距離が縮まり早く現地に行って対面で話したいと感じました。また自国の国の文化ではこうであるという発表の機会もとても増えたので、文化の違いや今まで当たり前だと思っていた事が他国では全く違う事たくさん学べて、改めて自分の国について勉強しないといけないと感じました。

リスニングの英語の授業では、人種差別の映画を見てその内容について与えられた設問に答えていく課題がありました。今まで人種差別について詳しく学んだことがなかった為、人種差別の歴史や現状について映画や自分で調べていく内に少し興味を持ちました。中国語の授業ではこのような人種差別といった国際問題を学ぶことが出来ない為、非常に自分の為になったのではないかなと思いました。

今月から就職活動を本格的に始めました。様々な就活アプリを使ってウェブ説明会を受け、夏期のインターンシップにエントリーをしたりしています。ですが授業が基本的に午後からであるため、対面で開催されている説明会やウェブで行われている説明会の時間と授業が被る事が多いためスケジュール管理をしっかりしようと思います。

月間報告書 2022年5月分

学籍番号 留学先 文藻外語大学
 氏名 留学期間 2022/01/01~2023/03/31
 年次 3年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	文藻華語中心	中国語会話・文法	2200	授業
2	專業英語聽力訓練	専門英語のリスニング能力の訓練	500	授業

II. 授業内容

No. 1

先月と同様に単語を学び終えるとリスニングテストが行われ、1課の内容全て学び終えるとまとめテストが行われる。1課の内容で合計3~4回テストが行われるため、書いて覚えるよりも会話の中で積極的に使っていくことですぐに覚える事が出来る。

毎回の授業でクラスメイトのフランス出身の学生と同じ日本出身の学生、そして台湾出身の先生と文化の違いを話し合っている事から、相手にも伝わるような文章を会話していく中で組み立てることが必要である。

また月曜日には先週一週間の出来事あるいは自国のニュースを2~3分程度発表する機会があり、全員が聞いて理解できるような内容にしないといけない事から、説明力も必要である。

授業形式は書くよりも話すことがメインである為、積極性やどういう言い方をすれば相手も聞いて理解できるかを会話をしながら考えていくため、大変だがとても力がつく授業である。

No. 2

課題の1つに同じチームの人とアメリカの黒人差別の映画を見てディスカッションをする課題があった。全員出身国が違うため黒人差別について考え方が違うため、非常に文化の違いを感じる事が出来た。

一週間に1つの課題が割り当てられ、期限内に提出をし2つの課題を学び終えるとフィードバックがリアルタイムの授業が行われる。

4つの課題を学び終えるまとめとして大テストが行われる。

III. 生活編

今月は日本ではゴールデンウィークがあり、周りが連休ムードの中台湾は平日である事から、5月の初旬は少し気分が乗らなかったです。毎日クラスメイトのフランス出身の学生と先生と文化の違いについて話していることから、日本とは違う文化や考え方を学ぶことに更に興味を持ち始めました。

5月からインターンシップの予約応募が始まり、オンライン留学をしている事から周りの友達の就職活動の進捗状況が全く分からないため、心配になることが多々ありました。今までバイトと授業を淡々とこなしていく生活だったのですが、就職活動も本格的に始まったことで、本当に毎日が忙しく、スケジュール管理が大変になってきたと感じています。そのため、少し5月の後半から疲れが溜まってきたように感じたので、やはり息抜きも必要だなと感じました。

2月から始まったオンライン留学があと一ヶ月で一学期が終了するので、最後まで手を抜かず勉強を頑張りたいと思います。また2月の頃と比べて、話す力や聞く力だけでなく、積極性や物事の考え方、時間の使い方が良くなったように感じます。残り一ヶ月も更に成長できるように頑張ります。

月間報告書 2022年6月分

学籍番号 留学先 文藻外語大学
 氏名 留学期間 2022/01/01~2023/03/31
 年次 3年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	文藻華語中心	中国語会話・文法	1700	授業
2	專業英語聽力訓練	専門英語のリスニング能力の訓練	300	授業

II. 授業内容

No. 1

今月で春学期が終了する為、中旬までは普段と同じように1つの課の内容を約1週間かけて勉強する。

中旬から下旬にかけて期末テストの為の復習をする時間が追加された。

1つの課に2つトピックスがあり、1つのトピックスが終わると単語テストや文法のテスト聞き取りテスト、作文のテストが行われる。普段の授業形式が、書いて覚えるという形式ではなくクラスメイトとコミュニケーションを取りながら、文化の違いを共有し、中国語を学んでいく形式である為、自然と文法や単語が身につくようになる。

毎週月曜日は先週一週間の出来事や、自国のニュースなどを3分程度の発表する機会があり、難しい単語を使わずに全員が聞いて理解できるような内容に構成するため、分からない単語を使う場合などは簡単な例文を用いて説明したりする。

期末テストは、授業最終日とその前日の二日に分けて行われる。一日目は単語、文法、リスニング、作文のテストである。今まで習ってきた内容の総復習といったテストの内容であった。二日目は先生と一対一の会話のテストである。一人5分程度で、今までの課の物語の内容を覚え、ランダムである1つの課について、どのような内容であったかを答えたり、先生が用意した質問に対して自分の意見を答える問題、与えられた写真と単語を使って、短い物語をその場で構成し話すという問題であった。

No. 2

先月と同様に2週間は2つの課題を各自期限内に仕上げ提出をする。内容は毎週異なり、今月は美術についてや黒人差別について、アメリカの歴史などYouTubeに投稿されている動画を見ながらワークシートに答える形式と、与えられた質問にクラスメイトとチャットのような機能を使って意見交換をする課題内容である。

3週目は、2つの課題のフィードバックをリアルタイムの授業で行われる。

このような作業が繰り返し行われる授業形式である。

期末テストは中間テストと形式は同様で、学習した課の動画の音源が順次流れるため、その間に与えられた設問に答えていく形式である。

III. 生活編

今月で春学期の授業が終わるので、6月下旬は期末テストに向けた勉強をしていました。文藻外語大学は9月に授業が始まり、6月に授業が終わるので、現地にいる留学生とは実際に会って話すことが出来なかった事が心残りでした。しかし6月の中旬頃から台湾でもコロナウイルスが流行し始めたことで、全ての授業がオンラインで行われました。今まで中国語の授業は原則対面で行われていたことから、ペアワークをする際はオンライン上で授業に参加している日本人同士で中国語を使って会話をしたり、ライン電話を使って現地の留学生と会話をしていたのですが、全員がオンラインになったことで日本人同士がペアになることがなく、画面上で面と向かって会話することが出来、更に中国語能力が伸びたと実感しました。またペアワークの課題が早く終わると、何気ない会話や自国の文化を教え合ったりなど、6月は特に充実した日々を過ごしていました。

就職活動も、夏のインターンシップに向けて合同企業説明会に参加したり、就活アプリを毎日見る癖をつけ、気になる企業について調べていました。大学に行っていないので周りの就活状況が分からず不安ですが、なるべく人と比べないように頑張ろうと思います。

月間報告書 2022年7月分

学籍番号	留学先	文藻外語大学
氏名	留学期間	2022/01/01~2023/03/31
年次 3年次	留学区分	派遣留学

I. 受講時間数

7月の教育編は入力がありません

II. 授業内容

7月の教育編は入力がありません

III. 生活編

夏休みになり、バイトや就職活動を毎日行っていました。

7月中旬からウェブでのインターンシップに何社か参加をし、更に自分がどのような仕事をしたいのかという事が明確になってきた一ヶ月間でした。対面でのインターンシップには参加したことがなく、少し不安な気持ちがある一方ウェブでのインターンシップに対しては少し慣れました。春学期間オンライン留学をしていたことから、積極性が身についていたため自分から発言したり、リーダー役を任されたりと、オンライン留学をしていて良かったと思えるような機会が沢山ありました。

7月下旬になり、台湾政府が日本人交換留学生のビザを認めるという方針に急遽変わり、実際に渡航留学することが決まりました。8月1日から順次国が指定した大学当てに交付番号が配られる事から、毎日大学とメールやラインのやりとりをしていましたが、なかなかスムーズに連絡が取れず不安でしたが、秋学期から実際に渡航できるので嬉しいという気持ちや就職活動の不安も少しはあります。ウェブで開催される会社説明会やインターンシップにはなるべく現地から参加をし、留学と平行して頑張りたいと思います。

また現在の台湾の政治状況は大変である事から、実際に現地にいる私と同世代の人達の政治への関心などを勉強したいと思います。

月間報告書 2022年8月分

学籍番号	留学先	文藻外語大学
氏名	留学期間	2022/01/01~2023/03/31
年次	留学区分	派遣留学

I. 受講時間数

8月の教育編は入力がありません

II. 授業内容

8月の教育編は入力がありません

III. 生活編

8月に入り、急遽台湾政府が日本人の交換留学VISAを認める発表が出されたことで、急いで必要な書類など自分で手配した1ヶ月でした。

なのでどのような手続きを経て留学準備を行なったか紹介します。

まず台湾に入国するに当たって、政府が交換留学生を受け入れるのに許可した大学に許可証が送られ、自分の番号が書かれた紙を大学側にメールで送って貰います。そして入学許可証のPDFファイル、パスポート、京都外国語大学の在籍証を手元に用意が出来たら私の場合は大阪に住んでいるので大阪の台北駐大阪経済文化弁事処にメールで添付します。その後VISAの申請許可が下りれば、次に入学許可証の原本が自宅に届くのを待ち、メールで転送した書類、証明写真、身分証明書など必要な物を全て揃え、台北駐大阪経済文化弁事処に行きます。そして手続きが完了すると、5営業日後再び弁事処へ行きパスポートとVISAを受け取ります。ここまでの流れで最短でも約1~2週間はかかります。VISAを申請している間に大学側にいつにVISAを得ることが出来、その後何日後私は入国することが出来るのかといった内容をラインで連絡を取り合い、入国可能日を聞きます。そして飛行機の手配、海外保険の手配、隔離ホテルの手配を行います。VISAを受取次第急いで大学側にVISAの写真、飛行機のEチケット控え、隔離ホテルの予約確認証と一緒に大学側にラインで添付します。次に交換留学生に必要な入国許可証という書類を大学側が政府に申請します。約3~5営業日ほどで入国許可証をPDFで送って貰いました。これで入国するための必要な手続きは終了です。後は入国する48時間前に検疫システムに情報を登録すれば完了です。

全て自分で1ヶ月もない間に全ての手配を行ない、大学側との連絡も取り合うというとても忙しい1ヶ月間でした。大学側とはなかなか連絡がスムーズに取れないので、しつこくラインを送ることが大切であり、分からないことがあれば何度もラインを送ることが大切です。私の場合、大学側とスムーズに連絡が取れなく、1度飛行機のチケットをキャンセルしたり、隔離ホテル先に入国日がずれるという連絡をしたりと、沢山の人の迷惑をかけながら準備を行っていました。しかし幸いにも私の友人が台湾に沢山いるので、ホテル先に事情を説明してもらい何とか無事入国する準備が整いました。

この1ヶ月間で私が感じたことは、留学するとなると絶対に一人の力で全てを行なうのは不可能で、周りの人の支えによってできる経験だと非常に感じました。

今回急遽VISAの申請が下りたことで毎日が慌ただしく、連絡もスムーズに取れない事から、精神的にも苦しいと思うことが多々あり家族には非常に迷惑をかけたなど反省する1ヶ月間でした。しかしこの経験もいずれ自分の役に立つと思いつつながら留学生活を送りたいと思います。

月間報告書 2022年9月分

学籍番号 留学先 文藻外語大学
 氏名 留学期間 2022/01/01~2023/03/31
 年次 3年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	文藻華語中心	中国語会話・文法	1500	授業
2	商業日文	日本の商業について	300	授業
3	経貿日文	日本の貿易ビジネスについて	300	授業

II. 授業内容

No. 1

授業初めの一週間はクラスを移動し、自分のレベルに合った教室で授業を受ける事が出来、翌週からは決めたレベルのクラスで毎日授業を受けます。

9月は第1, 2課の半分まで習いました。授業形式は一学期の時と形式は変わりません。最初に単語を学習し、単語の使い方やクラスメイトとディスカッションを行ないます。その後本文や文法を学びます。テストについても一学期と同様に単語を習い終わると単語のテスト、文法を学習した後は単語と文法のテストをします。一課の内容に2つの本文がある為、小テスト4回と、一課の総まとめテストの計5回実施されます。宿題はほぼ毎日課されますが、難しくなくすぐに出来る内容なので非常に楽です。

一学期ではオンラインで授業を受けていたので実際に対面で授業を受けると、沢山の人と会話をする機会があり、中国語を積極的に話す機会が増えました。

No. 2

この授業は現地の日本語学科の学生と一緒に授業を受けます。先生は日本人の先生で授業言語は終始日本語で説明されます。

指定された教科書を購入し、一日に一課ずつ学びます。初日はオリエンテーションのみで翌週から本格的に授業が開始されます。

一課ごとに内容が違い、今月は日本のビジネスにおける電話マナー、日本のビジネスにおけるほうれん草とは、という二課分習いました。

この授業では4人のペアと実際に体験や話し合いをしながら身につけていく形式で、ペアは毎週変わります。そのため沢山の友達と交流することが出来たり、お互いの言語を教え合ったり、文化の違いを感じる事が出来ます。日本人にとっては知っていて当然と言われてるビジネスにおける常識的な事を学ぶため、知らなかった常識を取り入れることが出来る他、社会に出て少しでも失敗しないような対策が出来たり、日本ではビジネス会話について学ぶ機会が無い日本人にとっても非常に勉強になります。

そのほかにもこの授業では日本の就職活動の現状や、就職活動の進め方、海外で働くにはどのような取り組みを行なうべきか、先生や知人の体験談を基に話をしてもらえるため非常に勉強になる授業です。

No. 3

この授業は日本語学科の学生と一緒に授業を受けます。先生は日本人の先生で授業言語は9割が日本語で行なわれます。

私の他に日本人が1人参加しているため、日本人である2人が必ずクラスメイトの前で見本を行ないます。そのほかにも学生達が分からない様子であるならば、私達が意見を言わなければならないため、非常に責任感や緊張感のある授業です。

授業内容は商業日文と同じテキストを使う為、内容は似ており日本のビジネスにおける常識マナーや会話を学びます。

初日はオリエンテーションのみで翌週から本格的に授業が開始されます。

学生同士2人ペアを組み、毎回の授業で習うビジネス会話やマナーを体験し、最後にはクラスメイトの前で発表します。その際に良い点や悪い点を皆で話し合い、日本人は直した方が良い点を必ず伝えなければいけません。

ビジネスマナーや会話だけでなく、毎週日台間で現在何が起きているのか、時事ニュースも教えて貰えるため非常に勉強になります。また先生は長い間台湾に移住していることから日本と台湾のビジネスにおける違いも教えて貰えるので、ためになる授業だと思います。

III. 生活編

渡航日まで毎日が手続きや連絡の取り合い、準備で大忙しな日々でした。桃園空港に着くと交換留学生専用の誘導する人がSIMカードの手続き、入国審査、PCR検査、検疫タクシーの手配など全て行なってくれます。無事隔離ホテルまで到着し、3日間の強制隔離+4日間の自主隔離が始まりました。私が利用した検疫ホテルは朝昼晩と決められた時間になるとチャイムが鳴り、ご飯が提供されます。また生活用品で交換したい物や追加で欲しいもの、ゴミは決められた時間内にドアの外の椅子に置くと、届けて貰えます。そして4日目から検査キッドで陰性が出れば外出可能です。そのため私はご飯以外の時間は常に外に出て散歩をし、ホテルに伝えた帰宅時間内に帰るような生活を送っていました。8日目ようやく学校の寮に着き、様々な手続きをします。ベッドシーツや枕、トイレットペーパーなど足りない物を買に行きました。私の寮部屋は3人の台湾出身の学生と4人で過ごしています。初めは緊張や台湾語が聞き取れなくて不安しかかったのですが、半年間だけの留学という事もあり色々な生活用品をシェアしてくれました。唯一大変だと感じたことはエアコン事情です。文藻外語大学ではエアコンを使う際、専用のカードを購入しないと使うことが出来ません。値段は60時間で500ドルです。そのため、選択した授業によってはクラスメイトと折半をして、授業に使うエアコン代を払わなければなりません。寮も同じく専用のカードを購入しないと使うことが出来ないため、ルームメイトと折半します。私は日本より湿度がない事から夜は快適な気温であっても、暑いと感じる人もいるため、すぐに60時間分使い切ってしまう。そのため私はエアコン事情について皆で話し合いたいと言い、何度も話し合いを行なったことで、よりルームメイト全員がお互いの生活文化の違いに理解を深めることが出来た他、徐々に皆が話すようになりました。また私は今まで誰かと共同生活をしたり、寮で暮らすことがないため、ルールなどに慣れるまでは時間がかかりましたが、2週間もすればルールや自分の固定概念、文化の違いを気にする事は一切なくなりました。今まで自分がどれだけ余裕に暮らしていたかを改めて感じる事ができ、良い経験をさせて貰っていると感じています。

休日は友達と外に出て現地の人と自分から声をかけて会話の練習をしています。また外に出て感じる日本との違いや新しい発見を見つけたりしています。

毎日が本当に一瞬に感じるため、就職活動、授業、現地でしか出来ないことなどしなければならぬことが沢山ありますが、時間の使い方をしっかり考えて頑張りたいと思います。

月間報告書 2022年10月分

学籍番号 留学先 文藻外語大学
 氏名 留学期間 2022/01/01~2023/03/31
 年次 3年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	文藻華語中心	中国語会話・文法	2000	授業
2	商業日文	日本の商業について	400	授業
3	経貿日文	日本の貿易ビジネスについて	400	授業

II. 授業内容

No. 1

今月も教科書の本文を読みながら、新出単語や文法について学びました。

難しい単語や覚えにくい単語を学ぶ際は、その単語に関連したゲームを行ないながら身につけていきます。説明力やリスニング力がとても鍛えられるため、徐々に中国語の話す・聞く能力が伸びてきている事が実感できます。また単語を身につけながら、自国の文化について話す機会も多いため、日本や台湾の文化を知れるだけでなく、クラスメイトの出身国の文化も知る事が出来るため、非常に面白く勉強になります。

文法を学ぶ際も同じく、その文法にちなんだゲームやディスカッション、例文を考えて発表するなどをして身につけていきます。

このように授業形式は書くことをメインにしているのではなく、クラスで話し合いながら身につける形式である為、相手が何を言いたいのかを読み解く力や、伝える力が必須です。

11月には中間テストがあり、内容が今まで習った課の中で自分が取り上げたい課を1つ選び、5~10分程度パワーポイントを用いて発表する形式です。前期と同じ形式である為、前回より良い発表が出来るように頑張ります。

No. 2

今月は日本の会社におけるメールの書き方、先輩への質問の仕方、電話対応の仕方について学びました。

この授業形式は毎回4人のグループに分けられ、グループワークをしながら日本の会社で働くためのマナーや知識を勉強します。

台湾と日本ではどのような違いがあるのかを比較しながら、お互いの国のビジネスマナーや知識を学びます。

日本では常識とされるビジネスマナーを1からしっかりと学べるため、とても勉強になるだけでなく、日本人の講師が実際に失敗した体験談を基に、ビジネスマナーを身につけます。

また11月には中間テストがあり、グループで日本の企業を1つ取り上げ、企業説明をするテストがあります。そのため、就職活動の仕方についても授業内で学びます。その際に日本人の講師が今まで体験した就職活動の話や、日本の企業と台湾の企業ではどのような違いがあるのか、台湾と日本の就職活動の違いについてわかりやすく教えて貰えます。例えば、台湾では大学を卒業した後に就職活動をするのが普通です。しかし日本では最近早期選考をする企業が増えてきていることから、早くに就職活動をする方が良いという風潮があります。このように両国の就職活動の違いから、異国で働くにはどのようなスキルを得るべきかを学びます。

No. 3

今月は日本のビジネスにおける電話対応、先輩への質問の仕方、電話で日時を約束する際の確認の仕方、社員が不在の際の電話対応の仕方について学びました。この授業は商業日文と同じ教科書を基に授業が構成されているのですが、授業形式は全く異なります。この授業では2人ペアになって会話をし最後にクラスの前で発表する形式です。私以外にもう1人日本人が授業を受けているため、私達は最後に必ず見本としてロールプレイをしなければなりません。そのため、言葉遣いに注意するだけでなく、表現の工夫や実際の雰囲気を作り出すことが求められます。毎回の授業で、私達はこれまでのバイト経験を生かしてロールプレイをしています。

他にも日台間の最新ニュースや歴史を学ぶ時間があります。今週は水際対策が緩和したニュースとなぜ台湾は親日であるのかについて学びました。

このように日本のビジネスにおけるマナーだけでなく、時事ニュースや日本との関わりの歴史を学ぶことが出来る為、非常に勉強になります。

III. 生活編

10月に入り、1週間の生活リズムが掴めてきました。平日は授業のない時間は図書室に行き、宿題や復習、予習をします。またSPIを解いたり、学チカ

を書く練習、留学をしていてどのような体験を得たのか、自分にしかない強みを書き起こして自己分析をしています。同じ留学生は留学中に就職活動をしていない人がほとんどなので、選択科目を沢山履修しておりその課題に取り組んだりしています。私の場合は2つだけ選択科目を履修し、就職活動と並行できるようにスケジュール管理をしているのですが、やはり台湾に留学していると現状の就職活動の様子が掴めずとても不安です。ですが台湾でも出来る事は沢山あるので、帰国して焦らないように日々頑張りたいと思います。

休日は常に外に出て友達と遊んでいます。毎週土曜日は親の知り合いの方が運営している活動に参加しています。日曜日は学校で知り合った台湾人の友達と遊びに出かけたり、同じ日本人留学生と遊んでいます。平日は勉強に時間を当てているからこそ、休日は思い切り羽を伸ばして遊び、留学の思い出づくりをしています。このような生活リズムを送っているため、気持ちの切り替えをする力が付いてきたように感じます。1日があっという間に過ぎるので、無駄にしないように今後もスケジュール管理をしたいと思います。

そして10月10日は台湾国慶節の日で祝日でした。商業日文の先生から、国慶節イベントに参加して欲しいと依頼されたので、私以外に商業日文の授業を受けている日本人留学生3人と、高雄市にある大学の日本人留学生3人で日本人代表として参加をしました。また全員で支給された鬼滅の刃の衣装や、「祭」と書かれた日本のはっぴを着て日本らしさをアピールしました。イベントには沢山の人が訪れ、とても活気がありました。イベント内容は沢山の団体グループが観光地付近を歩き回りながら、最後はテレビ局の方がたくさん立っているレッドカーペットを歩いて終了です。団体グループの中には、台湾の伝統民族のグループや、台湾の大学生グループ、企業グループなど様々で、私達の後ろに並んでいた、台湾の伝統民族グループの方々と仲良くなり、一緒にダンスを踊ったりしました。またレッドカーペットでは、唯一の日本人グループである事から、テレビ局の方々に大きく取り上げて貰い、とても歓迎されました。なかなかこんな経験をする事が出来ない為、良い思い出になりました。

11月になると中間テストがあり、グループ発表をする機会が多いため、頑張りたいと思います。

月間報告書 2022年11月分

学籍番号 留学先 文藻外語大学
 氏名 留学期間 2022/01/01~2023/03/31
 年次 3年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	文藻華語中心	中国語会話・文法	2200	授業
2	商業日文	日本の商業について	400	授業
3	経貿日文	日本の貿易ビジネスについて	500	授業

II. 授業内容

No. 1

今月は中間テストがありました。内容は学習した第1課から第4課までの内容を1つ選び、プレゼンテーションをするテストです。形式は前期の授業と同じく、パワーポイントを作り、5分程度クラスメイトの前で発表する形式です。採点方法も同じく、声の大きさ、パワーポイントの見やすさ、声調、発表態度、この4つが主に採点されているため、誰でも見やすく、わかりやすいパワーポイントを作り、なるべく原稿は見ず自分の言葉で堂々と発表するように心がけました。

中間テスト以外の授業では普段と同じく、1つの単元が終わるごとに小テストがあります。そして1課の内容全てを学習し終えると、大テストがあります。

また授業形式は会話がメインである為、書くより話す事がメインで、学習した単語を使って自分の意見を伝えたり、自国の国の文化を紹介し、文化の違いを共有しています。

No. 2

今月は中間テストがありました。内容は日本の企業を1つ取り上げ、グループで企業研究をし発表する内容です。

発表する際に、事業内容、福利厚生、今後の展開、強み等を必ず明らかにし発表しなければなりません。

日本人学生は各グループに一人ずつ入ります。台湾の就職活動の時期は、大学を卒業した後に各自行なうため、このような企業研究をする習慣は在学中にはまずありません。そのため私のグループでは私が留学先でも毎日就職活動を行なっていることから、私が気になっている企業について発表する事になりました。まずどのような事を行なっている会社なのか、福利厚生とは何かを簡単な日本語で説明をしたり、グループが分からないと感じたところは中国語で説明をしました。商業の授業であることから、毎週日本の会社について学習しているのですが、やはり文化の違いで上手く説明できない事が多くありました。

企業について全員が理解をした後、私が中心となり原稿やパワーポイントを作りました。日本と違いクラスで発表をする際、ほとんどの学生が自分の発表以外は興味無く、別のことをしていたり寝ていたりしています。その他少しでも興味を持って貰うために、話し方の工夫をしたり、聞いていて飽きさせない構成にするように工夫する必要があります。何度もグループで練習をした結果、想像以上にクラスメイトが私達のグループ発表に耳を傾け、良い反応をしていました。このように人前で何かを発表する際は、他とは違う個人的な方法で飽きさせない構成をする必要があると学びました。

中間テスト以外の週は普段と同じく日本のビジネスにおける会話のマナーなどを学び、文化の違いを明らかにしながら学んでいく授業形式です。

日本人は当たり前前に認識していると思われがちなビジネスマナーをしっかりと学ぶことが出来、また台湾の会社と比較する事が出来る為、非常に勉強になります。

No. 3

今月は中間テストがありました。テスト内容は習った範囲の課全て、授業内で取り上げた日台間の歴史や時事ニュースについて、言葉の問題これらが中間テストの内容です。実際にテストを受けてみて、日本人なら分かって当然というような問題ばかりでした。そのため、テスト前では日台間の歴史や時事ニュースについて時間をかけて勉強しました。

中間テスト以外の週では、普段と同じく日台間のニュースや日本のビジネスにおける会話を学び最後にクラスの前で発表します。日本人である私ともう一人の日本人留学生は、必ず最後に見本となる発表をしなければなりません。少しずつ複雑なテーマになっているため、伝え方にも様々な工夫を取り入れたり、重要となる会話の前後に実際に起こりそうな状況を付け加えて、見本となるような発表をしています。

台湾人の学生達は日本のビジネスにおける会話やマナーに毎度混乱し、どうして決まりが沢山あるのかといった疑問を持っている為、毎回の授業でとても文化の違いについて驚かされます。

また先生は日本より台湾で暮らしている年数が多いので、頻繁に日本の会社では現在どのような状況なのか、現在の就職活動はどのような仕組みなのか問われるため、日頃から日本のニュースを見ておかなければなりません。

III. 生活編

今月は中間テストと寮の中間掃除点検がありました。寮の中間掃除点検について紹介します。まず自分の机、椅子、ベッドなど一人1つ与えられたスペースは指でこすった時汚れが付かない程度まで掃除をする必要があります。そして部屋のシャワーや床、トイレ、洗面台、窓といった共有スペースでは、各自決められた場所を掃除しなければなりません。私はトイレ掃除、シャワーとトイレの換気扇の埃除去、洗面台の掃除でした。掃除道具は自分で手配するか各部屋に供えられている道具を使います。中間掃除点検期間は3日間で、自分が住んでいる階ごとに点検して欲しい時間を記入します。一人あたり約10分ぐらいでした。私の部屋を点検する人は、拭けていない場所があればその場でもう一度掃除をすれば合格にして貰えたため、再検査をする必要がありませんでした。もし再検査にも合格しない場合、掃除を放棄した場合、点検時間に部屋にいなかった場合はペナルティーが課せられます。期末にも掃除点検があるため、日頃から物をあまり出さず、頻繁に机や椅子、ベッドを清掃することをオススメします。

休日の過ごし方は、土曜日は両親の知り合いの人が運営している活動に毎週参加をし、現地の学生達や、大人の方と交流をしています。そこで中国語の日常会話を伸ばしています。日曜日は毎週友達と観光しています。文化の違いに触れながら、歴史や自然を楽しんだり、その土地のローカルグルメを食べたりして週末を楽しんでいます。

台湾の12月は暦上では冬なのですが今年は冬が来ないかもといった声が上がっています。昼間は毎日30度ぐらいまで気温が上がり、朝晩もあまり気温の変化はありません。また雨も降らないため、毎日が晴れています。しかし台湾の冬は空気が悪くなる季節と教えて貰いました。そのため、まだまだマスクは欠かせません。また12月1日から外ではマスクを外しても良いと言う方針が出されました。しかし、マスクを外すという雰囲気はなかなか感じ取れず、空気が悪くなる冬に向けて、マスクをつけている人が多い状況です。

12月はクリスマスや、年末といった行事は台湾人にとって重要では無いため、特別なイベントはありません。春節が一番のメインイベントである事から、ますます春節にかけて街が盛り上がると思うので、楽しみたいと思います。

月間報告書 2022年12月分

学籍番号 留学先 文藻外語大学
 氏名 留学期間 2022/01/01~2023/03/31
 年次 3年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	文藻華語中心	中国語会話・文法	2100	授業
2	商業日文	日本の商業について	500	授業
3	経貿日文	日本の貿易ビジネスについて	400	授業

II. 授業内容

No. 1

授業形式は変わらず、1課につき2つの本文があり、1つの本文に出てくる新出単語を学習後、単語テストがあります。テスト後、本文に出てくる文法、本文の音読練習をし、文法を交えた小テストをします。この流れをもう一度行なった後、1課の総まとめテストがあります。

テストの内容は穴埋め形式で、文章に合う単語を当てはめる問題や、単語を使って例文を書く問題、学習した文法を用いて、例文を書く問題、与えられた設問に対して自分の意見を書く問題が、小テスト、総まとめテスト両方にあります。授業形式がディスカッション形式であるため、自然と単語や文法の使い方を覚える事が出来る事から、特別テスト前に必死になりながら勉強する必要は無いと思います。

また授業中の雰囲気はディスカッションが中心で、新出単語を用いながらお互いの国の文化について紹介し合ったり、意見交換を行ったりします。

互いの国の文化や考え方についても学ぶことが出来る為、中国語だけでなく、様々な国について知ることが出来ます。

No. 2

今月は名刺交換、初対面での挨拶の順番について学びました。日本のビジネスシーンにおいて会社訪問に伺った際、初めて会う人同士では挨拶や紹介を行なった後名刺交換をする為、その方法について学びました。紹介や挨拶をする順番、名刺を交換し合う順番や作法、座席の場所まで全て決まったルールが日本にはあることから、沢山実践をし身につけました。台湾ではこのような細かな決まりが無い為、クラスメイト全員が混乱しており、日本のビジネスルールについて、なぜこんなに面倒であるのかといった疑問を何度も尋ねられました。日本人の私でさえも、混乱したり面倒だなと感じましたが、新しく得る知識が多いことから非常に役に立つ授業内容でした。またこの授業は必ずペアワークであるため、グループ全員が理解していなければ、中国語で説明をしなければなりません。このことから中国語を使って伝える力も養うことが出来ます。

来月は期末試験があり、中間試験と同じグループで台湾の企業を研究し発表しなければなりません。また条件として日本語が必須な会社を紹介するという条件があります。1月は2週しか授業が無い為、その2週を使って期末発表を行なうため、授業自体は12月で全て終了しました。

この授業を履修して、日本人だと当たり前前に知っていると思われるがちなビジネスマナーを1から勉強することができ、新たな知識を得られただけで無く、クラスメイトが混乱していたら中国語で説明をしなければいけないので、伝える力も同時に学ぶことが出来る、そういった授業でした。

No. 3

今月は、日本のビジネスシーンにおいて初めて知り合う人同士の挨拶や紹介の仕方や順番、会社訪問の際に遅延した際の対処法、定時になり自分の仕事は終わったが周りはまだ仕事をしている際の対処法について学習しました。台湾では日本のようなビジネスにおける細かなルールはありません。その場の流れで行なう事から、毎度学生達は混乱しています。そのため、日本人である私ともう一人の日本人留学生が手本となり、クラスメイトの前で実践をしなければなりません。また各グループが発表し終えると必ず、フィードバックをしなければなりません。どの部分が間違っていて、どうすればもっと良くなるのか、各グループごとによりわかりやすく伝えなければいけないので、授業中は常に手本であるという意識を持たなければなりません。

また日台間のニュースも並行して学習します。徐々に両国の行き来が簡単になっているからこそ、互いの国の歴史や文化について学ぶ必要があるといった記事や先生の講義を聴きました。また台湾の半導体メーカーが熊本にも建設をしたことで、現在熊本ではますます台湾に関する物や飲食店が増えてきているという記事を読みました。その際に、台湾の半導体事業についても少し勉強をし、日本のビジネスだけでなく、現在力を入れている半導体についても学ぶことが出来ました。

III. 生活編

12月中旬から高雄も寒波の影響で気温は一気に下がり、長袖やコートが必須になりました。しかし昼間はとても暖かいことから朝晩と昼間の寒暖差に注意しながら過ごしていました。1番寒い日で最高気温が18~19度前後、最低気温は13度前後でしたが、高雄の気温に慣れてしまったため、とても寒く感じました。台湾人の友達は皆、今年の台湾の気象はおかしいと口を揃えて言っていました。台北の山の頂上付近では雪が降ったというニュースがあり、台湾は沖縄と同じような気温であるという固定概念が無くなりました。また台湾の冬は空気が悪くなります。そのため、12月からマスクを外して外を歩いても良いという方針が変わったけれど、マスクをしないとくしゃみや鼻水が出るといった症状が起ります。そのため、街を歩いていてもマスクをしている人がほとんどで、まだまだマスクが必須です。

12月22日は冬至の日であることから、湯圓という丸い団子みたいな物を食べる文化があります。食べると一歳年をとると言い伝えがあるらしいです。そのため、学校内でも湯圓を配っていたり、街中は沢山の湯圓が売られていました。私は団子の中にごまが入っている湯圓を小豆のスープと一緒に食べました。あまり甘くなく、とてもおいしかったです。

文藻外語大学は12月に入ると学校の校庭に飾り付けされたイルミネーションが夜11時からいまで光ります。また大きなツリーも設置され、学生だけでなく一般人も写真を撮る人であふれかえっていました。そしてクリスマスが近づくと、学校内ではフリーマーケットが開かれました。服だけでなく、アクセサリーや香水、食べ物など沢山のお店があり、価格帯も学生が手に取りやすい値段設定である事から、非常に賑わっていました。

その後年末までしっかり授業があり、あまり年越しという雰囲気は感じられませんでした。その原因は台湾には旧正月があり、年越しは重要視されています。また1月1日を迎えたとしても、まだ2022年という認識があるそうです。そのため街の雰囲気は、日本と違って普段と同じような休日を過ごしている人しかいませんでした。しかし12月31日の夜11時30分を過ぎたあたりから、爆竹の音が聞こえ始め、1月1日になった瞬間には花火が沢山打ち上げられていました。

1月になると授業は2週間しかなく、帰国日まで約三週間しかありません。残された時間を大切にしながら、勉強や就職活動に一生懸命取り組み、台湾での生活を楽しみたいと思います。

月間報告書 2023年1月分

学籍番号 留学先 文藻外語大学
 氏名 留学期間 2022/01/01~2023/03/31
 年次 3年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	文藻華語中心	中国語会話・文法	900	授業
2	商業日文	日本の商業について	200	授業
3	経貿日文	日本の貿易ビジネスについて	200	授業

II. 授業内容

No. 1

期末テストに向けてまだ残っている課を習ったり、テストに向けて筆記力を伸ばしたり、リスニング力を伸ばす練習が増えました。期末テストの内容は聴力、口讀、作文です。範囲は半年間学習した課全てから出題されます。また作文は与えられた条件に従って200字程度時間内に書き上げます。普段の授業で作文を書く練習があったことから、少しも苦ではありませんでした。授業の形式は普段と同じ形式で、ペアワークで意見を交換し合ったり、クラスの前で自分の考えを述べたりする形式です。そのため、人前で自分の意見を述べることにに対する恐怖心は本当に無くなりました。またどのように伝えれば全員が理解できるのか、といった説明力も身につける事が出来ました。

No. 2

1月の授業は全て期末テストとして中間テストと同じグループで台湾の企業を1つ取り上げ企業研究を行ない発表するという内容でした。また条件として日本語が必須な企業でないといけないという条件がありました。私のグループは日本のアニメを中国語版にアジア地域に配信する事業を行なっている企業を取り上げ発表しました。台湾の就職活動は学校を卒業してから行なうため、企業研究をする事になれていないため、前回と同様私がリーダーとなって、発表の準備をしました。台湾では福利厚生や制度が全く日本と違い、特に補助金制度は台湾の方が日本より種類が多く手厚い事を学びました。また全てのグループの発表聞いて感じたことは台湾の企業は福利厚生面がとても手厚く、社員だけで無くその家族にもお得なサービスが豊富で日本よりも仕事と私生活を充実させる事が出来ると感じました。この授業を全て履修して学んだことは海外で働くにはまずは自国でしっかりと経験を積んで生活できるぐらいのお金が無いと働くことが出来ないという事を学びました。またただ海外で働きたいという漠然とした気持ちで海外に行くのではなく、なぜ行きたいのか目的をしっかりと決め、その国の文化や言葉をしっかり理解してからでないと大変だと言うことを学びました。

No. 3

1月の2回の授業は、1回目は期末テストの復習をし、最後の授業では期末テストを受け授業が終わりました。

この授業を全て履修して学べることは、日本のビジネスシーンにおけるマナーや言葉を1から教えて貰えます。日本人は知っている当たり前とされているマナーでも間違えて覚えていたり、台湾のビジネスシーンと何が違うのか比較しながら学ぶことが出来ました。またこの授業では、毎度日本人はクラスメイトの前で見本を見せないとイケなかったため、人前で何かをする事の恐怖心や恥ずかしさ等はなくなり、自身を持って人前に立つことができるというメンタル面でも強くなりました。

他にも日台間の歴史や時事ニュースを授業内で取り扱っていたことから、休日は博物館や日本に関わりのある観光地へ行き、日台間の歴史を実際に展示物などを見てより深く理解することが出来ます。時事ニュースでは、日本にはまだ報道されていない事柄も知ることが出来るほか、日台間の時事ニュースについて台湾人と日本人の考え方の違いも比べることが出来る為、履修して良かったと感じました。

III. 生活編

文藻外語大学は1月3日から授業が始まります。日本の様に2週間程度の冬休み文化が無く、授業も12月の最終日までであった事からとても不思議な感覚で授業を受けていました。年越しは長い時間花火や爆竹が上がっていましたが、街の雰囲気は旧正月に向けて準備しているため、1月1,2日は台湾人にとって祝日と同じ感覚で特別何かをするという事はないようです。1月に入ればさすがに高雄も冬の気温になるだろうと思っていましたが、朝晩が冷えるだけで昼間は少し汗が出るといった気候でした。また高雄の冬は空気が非常に悪いです。理由は高雄は工業地帯である為、工場から出る排気ガスが原因で目で見えるぐらい空気が悪くなります。そのため体には気をつけて過ごしていました。また1月は残りの授業が2週間である為、プレゼンテーションの準備や筆記試験の勉強に忙しかったです。また寮の期末掃除点検もある為、時間がある日に断捨離をしたり、少しずつ荷物をまとめなければいけません。授業終了後は次の日に寮生は全員一度退寮をしなければなりません。その後次の学期が始まるまでの約1ヶ月の冬休み間で実家に帰らない台湾人や海外からの留学生は、手続きを行なった後再び寮に入ることができます。私の場合は授業終了後、1週間は寮で住むため1週間分のお金を払い再び寮に入りました。

1月は私の誕生日であるため、沢山の友達から祝って貰う事が多く、とても忘れられない誕生日になりました。

そして旧暦の大晦日は、スーパーは買い溜めするお客さんでどこもあふれかえっていました。なぜなら、春節に入るとスーパーや飲食店はほぼ全て長い期間閉まります。そのため、買い溜めをしなければなりません。今年の春節は非常に長く、日本へ行く人が非常に多いようです。また旧正月になると街中は爆竹や花火で大盛り上がりでした。新型コロナウイルスに対する考え方が徐々に緩くなったことで、台湾の国全体がようやく活気を取り戻す事が出来るといった雰囲気でした。

1年間の留学を経験し、1学期目はオンライン留学であったことから、初めは実際に対面で授業を受けたいなといった気持ちや、画面上でのやりとりになれないなといった気持ちでいっぱいでしたが、徐々にクラスメイトとも仲良くなり、リスニング力や会話力も伸びたように感じました。その後2学期目から急遽渡航することが決まり、初めは全て自分で手続きを行わなければならない大変さと、文藻外語大学とのやりとりがスムーズに出来ないことに対する不安感で、少し気持ち面でしんどい事がありました。実際に渡航すると半年間は本当にあつという間で、今思えばそのような大変な経験も良い思い出になったなと感じます。オンライン留学も渡航留学も両方経験をして、どちらの方法にも良さがあり、絶対に国外へ出ないと言語をマスターすることは出来ないという偏見は無くなりました。また海外で半年間過ごし、日本では当たり前だったことが通用しなかったり、日本では許されない事が台湾では許されるなど、文化の違いを体験できて非常に勉強になりました。